

後援会だより

わくわくカーニバル

2022年12月3日あま-ちでは後援会主催の「わくわくカーニバル」が開催されました。前半はフロア内には3つのブースを立て、「お悩み相談室」「マッサージ」「美容室」となかも達は思いのブースに行き楽しんでいました。後半はWiiを使ったゲーム大会やコリントゲームも開催され、笑顔溢れた1日となりました



クリスマス会

2022年12月10日は毎年恒例の年末のお楽しみ！クリスマス会でした。コロナ感染対策を十分講じた上で今年もえうた工房（AKB）さんの御協力の下開催され、素敵な歌がなかまのみんなにプレゼントされました(^_^) 会の途中では、ピアノでのクイズもあり、有名CM曲やどこかで耳馴染みのある曲が披露され、大いに盛り上がりました！



神戸やまぶき財団様より、木の香プロジェクトの一部にあたる助成金を頂きました。ありがとうございました。

署名のご協力をお願いします
 3/6 10:30~11:30 阪急園田駅前
 3/20 10:30~11:30 阪神甲子園駅前にて、きょうさん街頭署名・募金活動が開催されます。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください！

あま-ち後援会は社会福祉法人あま-ちの運営・事業を支えるために活動しています。会員になって私たちの活動を支えてください。
 ・年1回後援会総会を開催します。会員は総会に参加できます。
 ・各種イベントに参加できます。
 ・会報誌「うおっちゃんぐ」を年4回お届けします。
 ・会費は後援会の運営費として活用させていただきます。
後援会活動
 ・チャリティコンサート・バザー・物品販売・広報委員会・その他活動

*個人会員 年額 1口 2,000円 *賛助団体 年額 1口 10,000円

募金にご協力をお願いします
 どのような障害のある人もいきいきと活動できる医療的ケアを保障した通所施設の資金づくりに今後ともご協力をお願いします。

物品の提供にご協力下さい
 ご家庭で眠っている物品（衣服・台所用品・寝具等）のご提供をお願いします。（新しいもの限定でお願いします）

<会費振込先>
 口座番号：00950-6-130292
<加入者名>
 「あま-ち後援会」
<お問い合わせ>
 あま-ち 橋本
 ☎ 06-6438-6002

社会福祉法人・NPO法人の会計・税務・監査

多田公認会計士事務所

TEL: 0798-67-8762
 西宮市大畑町2-29 サーティ北口103
 阪急西宮北口駅徒歩8分

これで法律問題？分からなくても大丈夫です。一人で悩まず、気軽にまずはご相談を。

☎530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-4-4
 イワイビル 5階
 ☎(06) 6363-1040
 mail:sul@lawyers.jp
 弁護士 薛 史愛
 ※地下鉄谷町線南森町駅
 JR東西線大阪天満宮駅徒歩10分

ksks あま-ち うおっちゃんぐ



あま-ちと
友だち登録しよう！！

LINE



Instagram



HP



今回初めてあま-ちでアニマルセラピーが開催されました！かわいいわんちゃんをなでたり抱っこしたりと癒されました！小型犬から大型犬といろんなわんちゃんが来てくれてふれあいを楽しみました！



☆お知らせ★
 コープ武庫之荘店様に「レーザー加工機購入の為の募金箱」を設置して

- アニマルセラピー 1P
- 情勢 2P
- SDGs 特集 3P
- 後援会ページ 4P

編集人 社会福祉法人あま-ち
あま-ち後援会
 〒661-0026
 尼崎市水堂町3-13-3
 TEL: 06-6438-6002
 FAX: 06-6438-6008
 HP: <http://www.ama-chi.jp/>

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル四階

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル四階

100年後の今・・・何が変わったのだろうか

～映画「夜明け前」より



先日(11/23～25)虐待防止の学習会の一環で、きょうされん映画「夜明け前」の鑑賞会を開催しました。また、なかまも職員も学びやすいよう鑑賞前後に解説を行いました。

私は、この映画を観る度に「100年経った今、日本は何が変わったのか？」と考えさせられます。

この映画は、「日本精神医学の父」と言われる呉秀三医師のドキュメンタリー映画です。

明治時代、多くの精神障害者は、監禁を許していた精神病者監護法のもと、私宅監置されていました。そんな中、呉氏はドイツ留学中、社会の中で普通に仕事をして暮らしている精神障害者を目の当たりにします。

日本とあまりに違う境遇から全国各地の監置室や被監置精神病者の実態調査を行い、1918年調査結果をまとめた報告書「精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」をもとに多方面への働きかけを行いました。

当時の患者数は14万～15万人。一方、当時の精神病院の病床数は私立も含めて約5000床。治療施設が圧倒的に足りず、症状によっては暴れたり徘徊したりと手に追えない患者を家族は持て余し、一室でのみ、または敷地の一角に小屋などを設置し生活させる、いわゆる「座敷牢」です。

たとえ、入院できたとしても医者による治療は半分以上が受けられておらず、なにより大部分は幽閉されたままで、時には虐待の悲惨な例もありました。

また、入院での待遇の分かれ目は、資産や病気の期間、病状などですが、全体に監置する側の知識の欠如があったことは否めません。適切な治療がなされず、治療による治癒の可能性は、あったとしても優先されていなかったのだと思います。

そして、当時の精神医療の管轄が警察管轄に近い内務省だったこともこれに拍車をかけ「治す」よりも「隔離して他人に危害を及ぼさないようにする」ことに重きがおかれていました。

しかし、呉氏はこの調査の甲斐もあって、精神病者を自宅の中で監禁することを強制する「精神病者監護法」を廃止し、新しく「精神病院法」によって、患者を病院で見る道筋を見つけました。

このレポート自体が新しい法律制定のために政治家に向けてまとめたもので、当時の内務省の権威と実行力は今とは比べものにならなかったもので、並々ならぬ覚悟と信念がうかがえます。

私が呉秀三と聞くと、この映画の中にも出でくるある1文を思い出します。

「我が国何十何万の精神病者はこの病を受けたるの不幸のほか、この国に生まれるたるの不幸を重ねるものというべし」

この1文は、留学先で目にした障害があっても普通に暮らせる本来の姿と、「隔離して他人に危害を及ぼさない」ことに重きを置いた日本の状況を比べて「二重の不幸」として表現してあります。

病を患ってしまったことが不幸な上に、更に日本に生まれたばかりに私宅監置や座敷牢という人権を無視した扱いを受けなければならない！二重の不幸だ！ということです。

あれから100年が過ぎた今、精神障害のある人の地域での受け入れ先がなく1年以上入院している「社会的入院」の総数は27万5千人。寝屋川市や三田市では自宅での監禁事件が起こり、病院や施設での身体拘束や虐待の報道は後を絶ちません。

「人権無視や差別」。改善されているのでしょうか？呉氏の意志を引き継いで「安心してください！」って胸張って言えるだろうか？私は「何をやっているんや！」って怒られる気がします。

私はこの映画を通じて、精神疾患や精神障害への誤った情報や差別をなくし、地域で暮らしながら必要な治療を受けて回復していけるような社会を作る事こそが、今の時代を引き継いでいく者の使命だと強く感じました。

ほっとスペースあまーち 管理者 橋本克彦

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

～世界のSDGsな取り組み～

◎イギリスの化粧品ブランド「LUSH（ラッシュ）」では、2022年6月1日からバスボム「オランウータンボム」の販売を開始しました。

このキャンペーンは、インドネシアスマトラ島の西トバにある森林保護を目的としたものです。西トバの熱帯雨林にはオランウータンをはじめ絶滅危機に頻する大型動物が生息しています。バスボムには、お湯に溶かすとQRコードが記載されたチケットが出てくるというサプライズ付きです。QRコードを読み込むと鳥の声やオランウータンの鳴き声など、西トバの音を聞くことができます。消費税を除く全売上は、森林保全活動を行うSOS(Sumatran Orangutan Society)に寄付されます。小規模農家にはオランウータンに影響を与えないやさしい農業技術を伝えることで、生態系を崩さずに住民が収入を得られるようになるのです。



◎海洋ゴミ削減「Plastic Fishing」オランダの首都、アムステルダムでは「ゴミを釣りあげる体験ツアー」が行われています。

「Plastic Whale」という団体がっており、アムステルダムの運河でボートに乗りながら網を使ってゴミを拾う有料ツアーです。

有料ツアーにも関わらず、観光客だけでなく市民からも大きな人気を集めています。

世界では珍しいSDGsの取り組みが多いことがわかりますね！

for ゆうのページ お正月ならではの取り組みを楽しみました



書初め みんな集中して書いています。

近所にある須佐之男神社に初詣に行きました。久々の外出に笑顔がはじけていましたよ！

café de あまーちのページ 田岡店長に突撃取材！！

2023年4月からのcafé de あまーちは『SDGsにちなんだ喫茶営業』を行います。“体に良い料理”をテーマに食材を厳選し、新メニューの考案中。オープン時間は、10時から14時（ラストオーダー）、月曜～金曜（金曜日はパンの販売を行っています。）

なかま中心での喫茶運営をしていきますので、よろしくお願いします。



リフォーム、外構、剪定、住まいのことなら

こちよ快適な
住まいをめざす



代表者

小西 芳文

〒661-0011 尼崎市東塚口町1-6-1-117

携帯.090-8207-5116

Tel.06-6427-4787 FAX.6427-2039



第46次きょうされん署名募金活動

障害者福祉についての法制度拡充を求める国会請願第46次国会請願のための署名活動を行います。皆様のご協力よろしくお願ひします。

<あまーちにお立ち寄りの際は一筆お願ひします。>

発行日：4月1日